

令和4年度 基本方針 『現場の支援機関として市内事業者に寄り添い、地域経済の再始動、そして発展に寄与していく』

◆総括的概要◆

令和4年度は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響に加え、エネルギー・原材料価格の高騰、人手不足の深刻化、歴史的な円安の急伸、物価高と消費マインドの低下など、多くの中小・小規模事業者にとって極めて厳しい経営環境の置かれた1年でした。  
 このような中、当所では年度当初の基本方針に従い、現場の支援機関として市内事業者に寄り添い、地域経済の発展に寄与してまいりました。中小企業者デジタル化支援事業、感染症に備えたBCP策定支援事業、原油価格等高騰対策事業者給付金事業、専門家によるデジタルマンツーマン支援事業、小規模事業者の看板商品プロデュース事業、国・東京都・町田市の施策に関する最新情報の提供および申請サポートなど、1年間を通じて様々な伴走型経営支援に取り組みました。3年ぶりの開催となった「キラリ☆まちだ祭」は8万人の人出で賑わい、地域資源の魅力と活力を多くの来街者に伝える機会となりました。  
 また昨年度は、第13期役員・議員改選に伴い、令和4年11月1日から澤井会頭を中心とする新体制がスタートした年であり、今期の基本指針として「未来を考える会議体」「つながり」「中小企業の活力強化」という3本の柱が掲げられました。



第6代会頭として澤井 宏行 氏が就任

会員数 4, 110事業所

(令和5年3月31日現在)

入会 195事業所

退会 214事業所

※主な退会理由

廃業・閉店・休業	44%
市外転出	12%
経費削減	7%
利用機会減少等	37%

1. デジタル化に対応した事業者への支援

(1) 中小企業者デジタル化支援事業 [町田市補助事業]

市内の中小企業者に対して、生産性向上や販路拡大等を促進するデジタル化にかかる対象経費の2/3、最大20万円を補助することにより、ウィズコロナ・ポストコロナ時代の社会的変化への対応に向けて支援を行った。  
 交付件数 56件 (会員 51件、非会員 5件) 交付金額 9,803,000円



(2) デジタルマンツーマン支援事業

事業のデジタル化、ITの活用を希望する小規模事業者を対象に専門家がマンツーマンで個別支援を行い、SNSの活用を中心に課題解決につなげ、今後の経営に活かした。  
 令和4年5月～令和5年3月 (※1事業所最大5回まで)  
 実績 14事業所、延べ54回 (ITの専門家9名が対応)

(3) 事業復活支援金申請サポート事業

中小企業庁「コロナの影響を受けた事業の継続・回復を支援 事業復活支援金」の登録確認機関として市内事業所への事前確認を実施。また、希望する会員事業所には、提出書類の確認やサイトへのアップロード等の申請サポートを行った。  
 令和4年2月3日～6月13日 事前確認 641件、申請サポート 156件

(4) WEBセミナー

経営、税務、労務等の役立つセミナー、約600タイトル以上を動画配信。事業所や自宅にしながら、いつでもインターネットから観たいセミナーを受講可能。視聴には事前にID、パスワード発給の申し込みが必要。  
 実績 視聴者数 1,707名 視聴回数 3,975回

2. 市内中小企業者の事業継続計画 (BCP) 策定や原油価格等高騰対策についての支援

(1) 中小企業者BCP策定支援事業 [町田市補助事業]

市内の中小企業者に対して、感染症対応に係るBCPの策定や改定、BCPを実践するために必要な経費の一部を補助。  
 補助額 ①BCPを実践するために、必要な物品や設備等の導入に係る経費の2/3 上限 500,000円  
 ②BCPの策定・改定に係る経費の2/3 上限 100,000円  
 交付件数 9件 交付金額 2,873,000円



原油高給付金はダイレクトメールを用いるなど広く周知を行って、申請を促した

(2) 町田市原油価格等高騰対策事業者給付金事業 [町田市補助事業]

原油価格等高騰の影響を受けた市内中小企業者を支援するため、直近1年間に支払った水道光熱費 (電気料金、ガス料金、水道料金) 及び燃料費 (ガソリン、灯油、軽油、重油等) に要した経費に応じて給付金を支給し、事業の継続と雇用の維持が図られるよう支援を行った。対象経費が5万円未満は対象外。給付額の上限は10万円。  
 申請期間 10月17日～12月16日  
 交付件数 4,900件 (5,310事業所) 交付金額 404,180,000円  
 申請サポート 10月20日～12月15日で188件をサポート

3. 経営発達支援計画に基づく、中小・小規模事業者に対する伴走型支援

(1) 看板商品プロデュース事業

市内小規模事業者の看板商品について、商品力向上のための専門家による商品評価、新たな商品撮影でデジタルコンテンツの充実、プレスリリースによる情報発信、これらの一貫した支援で看板商品の知名度向上、新規販路の開拓、売上向上を目指す事業。

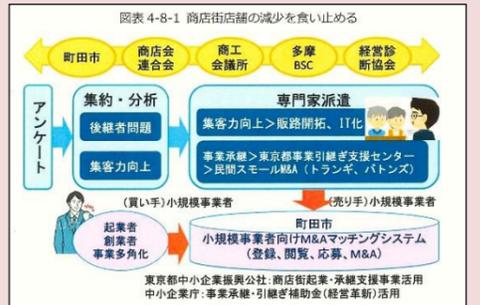
- ・商品PR検討会 小規模事業者7事業所
- ・DX推進支援 小規模事業者7事業所
- ・商品撮影支援 食品小売業を営む小規模事業者5事業所
- ・PR動画作成 商品の魅力を効果的に発信するため、モデル、イラストレーターを起用した商品紹介PRビデオを作成。当所ホームページ内に専用サイト「教えてスペシャリテ！」を設け、配信を行った。(QRコードからアクセス) <https://www.machida-cci.or.jp/produce/>



商品PR会議の様子

(2) 町田市地域経済動向調査

公開されているRESAS、町田市統計書などをもとに「町田市」の経済動向調査を実施。コロナ後の経営状況分析など、具体的なデータから影響を分析・考察し、行政への政策提言や働きかけ、都市開発の参考資料にすることを目的に実施。専門家 (中小企業診断士) の意見を反映した内容とするため、町田市経営診断協会へ委託した。調査期間は6月1日～9月30日。報告会は10月21日に開催。  
 町田市経営診断協会「町田市地域経済分析レポート」より抜粋→



4. 創業者に対する伴走型支援

(1) 町田創業プロジェクト [産業競争力強化法による認定]

町田市、町田商工会議所、町田新産業創造センター、金融機関等が連携し、それぞれの得意分野を活かして創業者を全面的に支援し、町田市内の創業者数の増加及び地域経済の活性化を図る取り組み。希望する創業者に起業家カードを発行。  
 起業家カード発行件数 100件 (平成26年7月より累計 749件)

(2) まちだ創業スクール 2022 [東京都活性化事業]

実績 8月開催 無料プレセミナー (オンライン配信 ライブ配信視聴数 27名、動画視聴 580回)  
 9月開催「本格コース」…本格的に独立創業を目指す方 (4日間・1日講習、会場講習 28名)  
 10月開催「副業コース」…小商い、サイドビジネスなど副業で開業したい方 (6日間・夜間講習、オンライン講習 155名)



本格コースは会場講習として28名を集めた

## 5. 中小企業庁 補助金（令和4年度 第2次補正予算）による事業者への支援

### （1）事業環境変化対応型支援事業 [日本商工会議所委託事業]

新型コロナウイルス感染症等の影響や最低賃金引上げ、デジタル化、インボイス制度導入等の対応といった事業環境変化による影響を受ける中小・小規模事業者を支援するため、専門家等による個別経営相談会や講習会を開催し、経営に役立てられた。

#### ① 中小企業診断士による「個別経営相談会」

5月18日～27日（8日間）、8月30日～9月12日（8日間）、11月16日～29日（8日間） 相談者数 91名

#### ② 中小企業診断士によるITに係る「個別経営相談会」

5月20日～1月20日（毎月第3金曜日・9日間） 相談者数 30名

#### ③ 税理士による「個別経営相談会」

5月17日～1月17日（毎月第3火曜日・9日間） 相談者数 53名

#### ④ 社会保険労務士による「個別経営相談会」

随時開催（15日間） 相談者数 15名

#### ⑤ 「事業復活支援金」申請サポート事業

5月9日～6月13日（13日日間） 相談者数 42件

#### ⑥ 「小規模事業者持続化補助金対応 補助金申請に向けた講習会」

5月17日開催 受講者数 11名

#### ⑦ 「インボイス制度対策講習会」

6月6日、10月4日、10月24日（3日間） 受講者数 81名

#### ⑧ 「持続化補助金・事業再構築補助金対応 補助金対策講習会」

11月7日開催 受講者数 11名



個別経営相談会、のべ189名が利用

### （2）制度改正等の課題解決環境整備事業 [日本商工会議所委託事業]

働き方改革関連法などの労働法制、消費税率の引き上げに伴う価格転嫁対策や消費税軽減税率制度及び適格請求書等保存方式（インボイス）などの税制度、民法改正等の制度変更に対して円滑に対応していただけるよう、説明会や個別相談会を開催した。

#### ① 新型コロナウイルスの各種支援策 説明会 11事業者参加 個別相談会 5事業者参加（10月開催）

#### ② 改正電子帳簿保存法とe-tax対策セミナー 1回目（11月開催）説明会 11事業者参加 個別相談会 7事業者参加

2回目（12月開催）説明会 12事業者参加 個別相談会 6事業者参加

## 6. 多摩ビジネスサポートセンターによる事業承継支援

町田市をはじめ多摩地域の小規模事業者を対象に、「事業承継」や「事業継続」などの経営課題解決のために専門家を派遣し、支援を行った。[東京都拠点事業]

#### ① 経営戦略・事業承継セミナー（5回実施）参加者数：46名

#### ② 専門家派遣

支援社数：203社（前年度比110%）

派遣回数：829回（前年度比92%） [主な支援内容] 事業承継（53%）、販路開拓（23%）、事業継続（13%）等

## 7. 小規模事業者への経営支援と新たな取り組みに向けた伴走型支援

### （1）小規模事業者、創業予定者等に対する経営指導員による伴走支援

・巡回相談 957件 ・窓口相談 2,097件 合計 3,054件

### （2）小規模事業者経営改善資金（マル経融資）の普及・活用促進

・マル経融資 推薦件数：57件（前年度対比135%）、推薦金額：36,910万円（前年度対比148%）

・マル経融資に対する町田市による利子助成件数：64件 助成額：148万円

### （3）経営セミナー、個別指導、専門相談の利用促進

・経営セミナー（18回、276名） ・個別指導（19回、224名）

・個別専門相談会（68回、86名）

### （4）中小企業経営力向上プロジェクト アドバンス [東京都補助事業]

都内中小企業・小規模事業者を対象に、当所の経営指導員と中小企業診断士が連携して経営診断を行った。経営診断で判明した経営課題については、専門家を派遣して解決に向けた取り組みを進め、事業計画の策定とフォローアップ支援を行った。

実績 経営分析 実施企業数 54社

アシストコース 実施企業数、支援回数 32社 142回

アドバンスコース 実施企業数、支援回数 4社 15回

### （5）補助金申請サポート

・小規模事業者持続化補助金（4回） 支援計画書発行数 91件、採択 52件

・事業再構築補助金（4回） 確認書発行数 14件、採択 6件



活力向上プロジェクトは、アドバンスとして引き続き3か年の取り組みが始まった

## 8. 会員事業所との関係性強化、情報発信

### （1）会員事業所訪問

従来当所から配送していた「令和5年カレンダー」を職員自ら会員事業所へ持参し、現在の経営状況や商工会議所への要望を伺うことで経営者とのコミュニケーションを深め、商工会議所との関係性の強化、帰属意識の向上を目指した。

訪問先 町田中央支部、町田支部、忠生支部の会員事業所

※2年間で全会員事業所を訪問する計画で約半数を対象。

実施期間 10月17日～12月16日 訪問件数 1,523件

### （2）LINE公式アカウントの開設と情報発信

令和4年10月1日運用開始。友だち登録された事業者へ、正確で迅速に情報（補助金申請受付開始前の事前告知等）を届けるツールとして活用する。

友だち登録数 480件

公式LINEを開設、友だち募集中→



## 9. キラリ☆まちだ祭 2022 ～いい街・町田の農業&産業フェスティバル～

町田市内の地域資源や農産物、商品・サービスなどを広く市民にPRし、町田市の魅力と活力を多くの市民に知ってもらう機会を創出し、あわせて市内で生産された食材を使った飲食物や、地元農産物、商工業者の連携商品の販売・展示に取り組んだ。「町田夢舞生ッスイ祭」も同時開催し、当日の賑わい演出も行った。

開催場所 ① 原町田大通り会場 ② 町田シバヒロ会場 ③ 小田急駅前東口広場会場

開催日 令和4年11月12日（土）、13日（日）

出店者数 22ブース（原町田大通り、町田シバヒロ会場）

来場者数 2日間で約8万人（全会場合計）

#### ① 「町田市農業祭」 ② 「連携商品の販売・展示」

#### ③ 「回遊性向上企画～キラリ限定！謎解きゲーム～」

#### ④ 「中心市街地飲食店利用キャンペーン

～キラリに来たなら町田で食べようキャンペーン～

来場者がお得にお食事をできる仕組みを構築し、中心市街地飲食店の販路拡大（売上増加）を目的とし、18の参加店舗は店舗独自のサービス（テイクアウト含む）を来場者へ提供することで店舗利用を促進した。サービス利用件数 114件

#### ⑤ 「町田夢舞生ッスイ祭」

「よさこい鳴子踊り」を通して、踊り子と来場者がひとつになり世代を超えた交流、賑わいの創出により地域の活性化を目指した催事として開催した。36チームが参加、踊り子は約1,500名。



8万人の人出で賑わったキラリ☆まちだ祭

## 10. その他の活動

### （1）都市整備・まちづくり委員会 多摩都市モノレール早期開通推進活動

多摩都市モノレール早期開通に向けた請願・署名活動を実施。「請願書」は11月30日に都議会議長へ提出した。

請願数は35,261筆。令和5年3月24日に請願受理。

また、隈研吾氏による未来駅のパースと模型を制作し、令和5年1月12日～18日、町田市役所で展示会を開催した。

制作した未来駅のパース→



### （2）企画事業委員会 海外視察研修

海外文化（風習、経済、観光等）に接することにより知見を深め、役員・議員と会員の交流及び情報交換の場を提供することを目的として開催。日程は令和5年3月17日～21日（4泊5日）、参加者数 33名。

訪問国・視察先 台湾（台北）[新竹サイエンスパーク、工業研究院、台北市進出口商業同業公會、鈞永科技股份有限公司]